



大利根東小だより



学校教育目標

- ◎自ら学び自ら考える子
- ◎こころゆたかな子
- ◎明るくたくましい子



【めざす学校像】「元氣・やる気・本気・根気・勇気・和気」（6つの気）をもって
自ら学び、互いに成長し合う児童を育む学校 【校訓】「流汗精進」
～3合い（愛）「助け合い・励まし合い・認め合い」の仲間づくりをとおして～
笑顔・感動・思い出っぱいの学校へ

三寒四温の候、春の訪れとともに、子どもたちは新しいステージへと歩みを進めようとしています。今年度を振り返ると、子どもたちは本当に大きく成長しました。学力はもちろんのこと、特色ある教育活動をとおして、徳力(人としての力)や体力も鍛えられ、まさに「未来を生きる力」を育んだ一年でした。

校長 小林 秀行

1 学力向上の大きな成果 ～全国平均を大きく上回る～

本校の子どもたちは、1月に実施したベネッセ学力テストで、全学年が国語・算数ともに全国平均正答率を大きく上回る成果を出しました。これは決して偶然ではなく、子どもたちの努力、ご家庭の支え、そして教職員の授業改善の成果が生み出した結果です。日々の授業では、子どもたちが「考える楽しさ」を感じられるよう、対話を重視した授業を展開してきました。

例えば、6年生は石川県金沢への修学旅行で得た伝統工芸体験をもとに、文章で表現する力を磨きました。5年生の米づくり活動や4年生の環境学習では、実体験をとおして学びを深め合い、「学びは生活の中にある」ことを実感しました。

また、ご家庭での支えも大きな力となりました。毎日の宿題、家庭学習、音読、詩の暗唱、読書の習慣など、ご家庭での積み重ねが子どもたちの学力を支えています。保護者の皆様の温かいまなざしと、努力を認め励ます言葉が、子どもたちの「学び続ける力」へとつながっています。この成果を受けて、私たち教職員も改めて感じるのは、「子どもたちは無限の可能性を持っている」ということです。「正しい努力や正しい練習は裏切らない」という言葉のとおり、コツコツと積み重ねた学びが、確実に結果につながることを証明しました。

2 スマホやゲームの課題と「読書の力」

はたまた、最近ではスマホやゲームの影響が学びに影を落としつつあります。特に、夜遅くまでゲームや動画を見続けてしまい、翌日の授業に集中できないケースもあります。かつてスティーブ・ジョブズは「自分の子どもには iPad を与えなかった」と語りました。彼は、テクノロジーが人の可能性を広げる一方で、子どもたちの創造力や思考力を奪う危険性があることを理解していたのです。片や、読書の習慣をもつ子どもたちは、語彙力が豊かになり、考える力が育まれます。ヘレン・ケラーの言葉に、「世の中で最も素晴らしく、最も美しいものは目に見えず、手で触れることもできない。それは、心で感じなければならない」とあります。読書を通じて心を豊かにし、深く考える習慣をつけることが子どもたちの未来を切り拓く力となるのです。

3 挑戦し続けることの大切さ

この一年、子どもたちは様々な挑戦を重ねてきました。運動面でも、多くの子どもたちが持久走大会や陸上競技大会に挑戦し、努力の成果を発揮しました。オリンピック金メダリストの羽生結弦選手は、「失敗は成功のもとではなく、成長のもと」と語っています。たとえ思うような結果が出なくても、それは成長するための大切なステップです。本校の子どもたちは、学びや運動、そして日常生活の中で「挑戦することの大切さ」を学びました。どんなに困難なことがあっても、「自分にはできる！」「あきらめないで前へ進もう！」と自分を信じて強い気持ちを持ち続けることが、未来を切り拓く大きな原動力となります。

4 保護者の皆様へ ～未来を生き抜く力を育むために～

子どもたちは、学校だけでなくご家庭や地域の皆様の支えの中で進化・成長していきます。「子どもの可能性は無限大」と言われますが、それを伸ばすのは日々の積み重ねです。特に、ご家庭での時間の過ごし方が学力・徳力・体力の向上に大きな影響を与えます。

- ・「寝る前の30分は読書の時間」にする
- ・ゲーム・スマホの利用時間をご家庭で話し合い、ルールを決める
- ・家族で「今日の出来事」や「読んだ本」について語り合う

こうした習慣が、子どもたちの「学ぶ力」「考える力」「生きる力」を育むのです。また、子どもたちにはこれからも「挑戦する勇気」をもってほしいと願っています。どんな困難も、乗り越えた先には成長があります。かのアインシュタインも、「学ぶことをやめたら、たとえ20歳でも年老いる。学び続ける限り、人は若い」という言葉を残しています。子どもたちには、常に新しいことに挑戦し、学び続ける姿勢をもち続けてほしいと考えます。今年度も、保護者の皆様には多くのご理解とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。4月からも、子どもたちと共に成長し続ける安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

「人は習慣をつくり、習慣が人をつくる」(ジョン・C・マクスウェル) 新年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

1・2月の東っ子のように

放課後子ども教室1／27(月)

第2回放課後子ども教室(ボッチャとフロアカーリング体験)を行いました。こどもたちは3人1組のチームに分かれ、初心者と思えないくらい上手に、とても真剣に取り組んでいました。仲間に声をかけたり、励まし合ったりしながら、楽しむことができました。



サケ放流体験2／12(水)

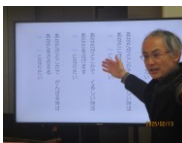
大利根東小学校では、サケの放流体験をとおして生命の不思議さや大切さ、たくましさを感じ取り、自然環境を学ぶ体験を総合的な学習の時間の一環で毎年体験学習を行っています。学校のそばに流れる利根川に、12月から育てたサケの受精卵(新潟県長岡市寺泊産を群馬県伊勢崎市のサケを守る会から特別にいただいた卵)を孵化させた稚魚を、約700匹放流しました。

こどもたちの「4年後に戻ってこられるように」という気持ちから、放流した利根川に、川の水質や河川環境についての興味・関心が高まり、故郷をきれいにしようという気持ちを育むことができました。



がん教育(6年生)2／13(木)

埼玉医科大学総合医療センター緩和医療科の儀賀理暁先生を招いてがん教育の授業を受けました。こどもたちは、がんについての正しい知識として「予防できること」「早期発見によって治癒する可能性が高いこと」を理解しました。「生き生きとした日常生活を送ることを大切にしたい」「健康と命をいつまでも大事にしていきたい」とこどもたちは感想を述べました。



3・4月の行事予定と下校時刻

3月			
1	土		
2	日		
3	月	新通学班編成 JRC あいさつ運動	全学年14:30
4	火	新通学班での登校開始	1-2年 14:30 3~6年 15:25
5	水		1年 14:30 2-6年 15:25
6	木	クラブ活動(今年度最終)	1-3年 14:30 4~6年 15:25
7	金	口座引落確認日 学力テスト問題返却(3~6年)	1-2年 14:30 3-6年 15:25
8	土		
9	日		
10	月		全学年14:30
11	火		1-2年 14:30 3~6年 15:25
12	水	卒業式予行・表彰	1年 14:30 2-6年 15:25
13	木		1-3年 14:30 4~6年 15:25
14	金	スクールカウンセラー来校	1-2年 14:30 3-6年 15:25
15	土		
16	日		
17	月		全学年14:30
18	火	6年生給食終了日 5時間授業 5校時大掃除 環境美化デー	全学年14:30
19	水	6年3時間 他5時間授業	1-5年 14:30 6年 11:25
20	木	春分の日	
21	金	1~5年給食終了日・5時間授業 卒業式準備4・5年	1-5年 14:30 6年 11:25
22	土		
23	日		
24	月	卒業証書授与式	1-5年 11:30 6年 11:50
25	火	6年臨時休業日	1-5年 11:25
26	水	令和6年度修了式・表彰 6年臨時休業日 一斉下校 通学路点検	1-5年 11:40
		3／27(木)~4／7(月)春休み	
4／8	火	令和7年度始業式・入学式	2-5年 10:30 1,6年 11:30
9	水	3時間授業 通学班編成	一斉下校11:40
10	木	3時間授業 身体測定	全学年11:25
11	金	給食開始 視力・聴力検査3・5年	1年 13:10(18日(金)まで)2年 14:30 3-6年 15:25

6年生を送る会2／28(金)

各学年から、卒業する6年生に、歌やダンスのプレゼントをしました。各学年からの発表に、6年生はとても感激していました。感動的なすばらしい会になりました。学年ごとにまともりがあり、6年生に感謝の気持ちを伝えることができました。次は5年生が最高学年となり、自覚と責任をもって活躍することを期待しています。



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生